

YASUDA Ryumon and YASUDA Haruhiko
THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA

2015.5.26 Tue. — 7.5 Sun.

和歌山県立近代美術館 

保田 和彦 彫刻展



保田春彦 《父の像》 1951 (2013铸造) ブロンズ 当館蔵

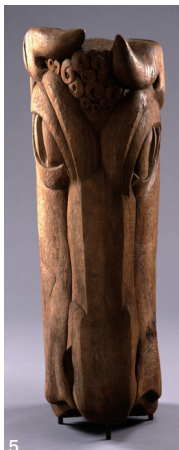
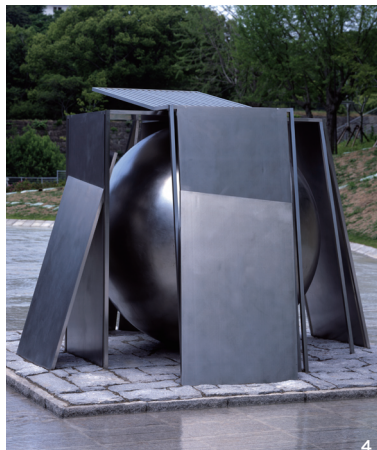


日本の現代彫刻を牽引してきた彫刻家、保田春彦(1930～)と、その父である画家・彫刻家の保田龍門(1891～1965)。ともに現在の和歌山県紀の川市で生まれ、それぞれに芸術の道を歩むことになったふたりの作品を、保田龍門の没後50年となる今年、あらためてご紹介します。

保田龍門は東京美術学校西洋画科を卒業し、在学中から彫刻の研究も行いました。29歳の年にアメリカ経由で渡欧、3年あまりを過ごしたのち帰国しました。パリで学んだ師ブールデルの影響を物語る女性像から、日本神話をテーマとした絵画や彫刻へと、モニュメンタルな表現の探求を続けました。

保田春彦は東京美術学校彫刻科を卒業後、1958年から10年間ヨーロッパに滞在し、彫刻を学びました。滞欧中に巡った中世の教会や街を思わせる、鉄や銅、ステンレスによる作品は、純化されたシャープな形体に独自の世界観が込められています。近年は闘病生活を送る自身の姿と周辺の様子を描くクロッキーの発表を続けています。また一昨年には滞欧中に父、龍門と交わした往復書簡を書籍として発表しました。

展覧会では、当館所蔵品を中心に、それぞれの彫刻・絵画の代表作やデッサンを展示し、芸術家として歩んだ親子の足跡を辿ります。



1. 保田龍門《光明皇后賜療》1936 油彩、キャンバス
2. 保田龍門《母の像》1915 油彩、キャンバス
3. 保田春彦《進化の過程》2010 木 個人蔵
4. 保田春彦《球を覆う幕舎》1994 ステンレススチール
5. 保田春彦《伝説》1957 木
6. 保田龍門《少女》1925 ブロンズ
7. 保田春彦《格子と壁》1998 ブロンズ

開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）休館日：月曜日
観覧料：一般510（410）円、大学生300（250）円

（ ）内は20名以上の団体料金 ＊高校生以下、65歳以上、障がい者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料 ＊6月27日（土）は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

ミュージアムトーク（学芸員による展示解説）
6月6日（土）、6月14日（日） 14:00～15:00

和歌山県立近代美術館

640-8137 和歌山市吹上1-4-14

tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337 <http://www.momaw.jp>

